

徳島県 松茂町

災害時の非常用電源として 指定避難所に「イーブロック」を導入

徳島県の東臨海部に位置する松茂町は、徳島阿波おどり空港や四国横断自動車道の松茂スマートインターチェンジがあり、徳島県の空と陸の玄関口と位置付けられている。町内を旧吉野川と今切川が流れ、肥沃な三角州を形成している一方、町内全域で海拔高が低く、地形傾斜が0~3%と緩いため、近い将来に発生が危惧される南海トラフ巨大地震では、町のほぼ全域が浸水する恐れがあると想定されている。

町では、松茂町国土強靱化地域計画を策定し、2016年には津波防災センター・中央庁舎を建設するとともに、庁舎には太陽光発電システムと大型蓄電池も整備した。しかし、町内に点在する指定避難所では非常用電源の確保が課題となっていた。先行して海外製の大型ポータブル電源が導入されたが、女性職員から重たくて移動させる事も困難と指摘があり、パナソニックの「イーブロック」なら女性でも手軽に持ち運べることから、災害時の非常用電源として採用された。2022年度には指定避難所のうち、5施設に「イーブロック」を20台導入。2023年度には10施設に合計38台が採用された。「イーブロックステーション」は複数台まとめて充電でき、コンセントに挿しておくだけで充電管理が楽で、職員の手間が省ける。また、復興への一歩が迅速に踏み出せると評価されている。さらに、毎年開催される「防災フェスティバル」でも、「イーブロック」が展示され、日頃の防災意識の重要さが訴求されている。

所在地／徳島県板野郡松茂町
事業主／松茂町
設置／2022年~23年度（イーブロック）

インタビュー動画を
ご覧いただけます



長原地区津波避難タワー



地上高が約6.4mあり、地域住民35名が避難できる。停電時には太陽光発電システムの自立運転で「イーブロック」を充電し、災害時には地域住民のスマートフォンの電源となる（設置：2023年度）

松茂町役場（津波防災センター・中央庁舎）



1.太陽電池モジュール（9.12kW）、2.産業用蓄電池（15kWh）を2016年に設置



松茂町第二体育館



災害時における職員の通信用と、避難住民のスマートフォン充電用に事務室に「イーブロック」を設置。「イーブロックステーション」なら差し込むだけで充電管理ができるので、職員の手間が省ける（設置：2023年度）

松茂町老人福祉センター松鶴苑



「イーブロック」と「イーブロックスタンド」を設置（設置：2022年度）

松茂町地域子育て支援センター



「イーブロック」と「イーブロックスタンド」を設置（設置：2022年度）

主な納入設備

- イーブロック
- イーブロックスタンド
- イーブロックステーション
- 太陽光発電システム
- 蓄電システム